

スマートアンテナ

2000 年（平成 12）から高度な信号処理機能を付加することにより、自在に特性を制御できる「スマートアンテナ」の開発が進められた。このアンテナでは指向性を柔軟に調整することができ、必要とする電波の方向には利得を上げて感度を良くし、逆に干渉電波が到来する方向には利得を下げ、その影響を軽減できる。KDD 研究所では、IMT-2000 の基地局への適用を考え、開発とともに実験を進め、フィールドテストで良好な結果を得た。

出典：KDD 社史